

令和5年10月13日（金）

令和5年度地域・職域連携推進関係者会議

資料6

新潟県における取組報告

はじめよう、

けんこう

time

健康づくり県民運動 スローガン



ロゴマーク

新潟県の概要

地域の状況

【総人口】 2,152,664人 (R4.10.1現在)

【高齢化率】 33.7% (R4.10.1現在)



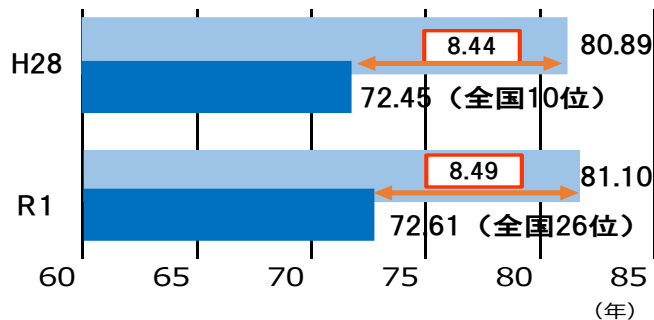
平均寿命・健康寿命 (H25・H28・R1)

() は前回との差、単位は年

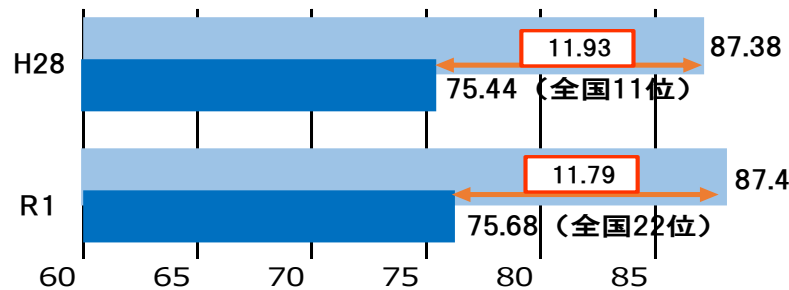
		平均寿命 (前回との差)			健康寿命 (前回との差)			平均寿命と健康寿命の差 (前回との差)		
		H25	H28	R1	H25	H28	R1	H25	H28	R1
男性	全国	80.21	80.98 (+0.77)	81.41 (+0.43)	71.19	72.14 (+0.95)	72.68 (+0.54)	9.02	8.84 (-0.18)	8.73 (-0.11)
	新潟県	80.30	80.89 (+0.59)	81.10 (+0.21)	71.47	72.45 (+0.98)	72.61 (+0.16)	8.83	8.44 (-0.39)	8.49 (+0.05)
	順位				17位	10位	26位			
女性	全国	86.61	87.14 (+0.53)	87.45 (+0.31)	74.21	74.79 (+0.58)	75.38 (+0.59)	12.40	12.35 (-0.05)	12.07 (-0.28)
	新潟県	86.77	87.38 (+0.61)	87.47 (+0.09)	74.79	75.45 (+0.66)	75.68 (+0.23)	11.98	11.93 (-0.05)	11.79 (-0.14)
	順位				13位	11位	22位			

出典：平均寿命 簡易生命表 新潟県 簡易生命表
健康寿命 健康日本21 (第二次) 推進専門委員会資料 (厚生労働省)

新潟県 (男性)



新潟県 (女性)



参照：平均寿命：簡易生命表 (年)
健康寿命：健康日本21 (第二次) 推進専門委員会資料 (厚生労働省)

健康にいがた21（第3次）

基本理念

県民の健康寿命が延伸し、すべての世代が生き生きと暮らせる「健康立県」の実現

- 県民一人一人が、健康づくりに取り組み、「すこやかで、いきがいに満ちた生活を送ることができる社会」の実現を目指す。
- 少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、ライフステージに応じた健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図る。
- 社会情勢が変化している中において、あらゆる世代のすこやかな暮らしを支える社会環境づくりに取り組み、健康格差の縮小を図る。

基本的な方向

1 一次予防の重視

望ましい生活習慣の改善（一次予防）を推進するとともに、定期的な「健（検）診」と早めの「治療」を促進し、生活習慣病の発症と重症化を予防

2 様々な場面や年代における健康づくりの展開

生活習慣病予防や健康づくりの取組を家庭、学校、**地域、職場等の様々な場面で各世代に応じた取組**を展開

3 健康づくりに向けた環境整備

社会全体として、個人の健康を支え、守る健康づくりを目指し、受動喫煙の防止や食環境づくり、**健康経営等を推進**

4 健康づくり県民運動の展開

「健康立県」の実現を目指し、健康づくり県民運動を**関連団体等と連携**して推進

健康にいがた21（第3次）の推進体制

新潟県健康づくり推進懇談会

※新潟県地域・職域連携推進協議会も併せて開催

分野別協議会

【健康にいがた21】 健康にいがた21評価・進行管理部会

【食育推進計画】 新潟県食育推進協議会

【歯科保健医療計画】 新潟県歯科保健医療対策委員会

【がん対策推進計画】 新潟県がん対策推進協議会

各会議・協議会が連携し、働く世代の健康づくりを推進

健康立県ヘルスプロモーション
プロジェクト推進会議

新潟県保険者協議会

新潟県のめざす姿

「住んでよし、訪れてよしの新潟県」



【目標】

すべての県民が生き生きと暮らせる「健康立県」の実現

食生活

運動

デンタルケア

たばこ

早期発見
早期受診

生きがい・幸福度

市町村をはじめ、職域や健康づくり関係団体と連携し、
県民の一人一人が生涯にわたって自らの健康状態に関心を持ち、
健康づくりに取り組める環境を整備する

健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議

市町村をはじめ、職域や健康づくり関係団体等と連携し、取組を推進しています！

推進団体47組織と新潟県による県民運動協働体



【推進会議の協議テーマ】

- 1 県民運動の創出に関すること
- 2 県民の健康づくりの実践方策に関すること
- 3 構成員が代表する組織内における健康づくりの実践方策に関すること
- 4 健康づくりを効果的に推進するための普及啓発に関すること
- 5 その他、推進会議の目的を達成するために必要な活動に関すること

新潟県における糖尿病・CKD対策の取組の必要性

○ 職域からの要望

- ・全国健康保健協会（協会けんぽ）新潟県支部など働く世代の重点事業の一つに糖尿病を掲げており、**市町村と連携した重症化予防事業を実施**。県の重症化予防プログラムにおいても、地域・職域連携が重要との意見。

【R4年度取組】

- ・協定市との連携による重症化予防事業
- ・南魚沼地域との連携による慢性腎臓病（CKD）専門医への受診勧奨 等

※ 背景

医療費が高額となっている被保険者の多くは生活習慣病で治療を受けており、基礎疾患として高血圧症、**糖尿病**、脂質異常症の割合が高くなっている

○ 当県の患者動向

- ・上越地域などにおいて、働く世代の糖尿病患者が大幅に増加

⇒ **糖尿病・CKD対策において、地域・職域連携を推進する必要**

新潟県における糖尿病・CKD対策の取組経過

H23～	<ul style="list-style-type: none">新潟県CKD・糖尿病対策推進会議にて慢性腎臓病、腎不全に関する予防や治療の専門的事項を検討
H26～	<ul style="list-style-type: none">モデル地域にて地域CKD対策推進事業実施
H29	<ul style="list-style-type: none">新潟県地域保健医療計画の糖尿病ワーキング設置
H30	<ul style="list-style-type: none">新潟県CKD・糖尿病対策推進会議要綱改正新潟県糖尿病性腎症重症化予防プログラム策定
R1～	<ul style="list-style-type: none">生活習慣病重症化予防ネットワーク事業開始 ⇒ (本県における重点事業として実施) 保険者支援、糖尿病対策における地域・職域連携の体制づくりへ新潟県CKD検討部会開催
R2	<ul style="list-style-type: none">新潟県糖尿病性腎症重症化予防プログラム改定

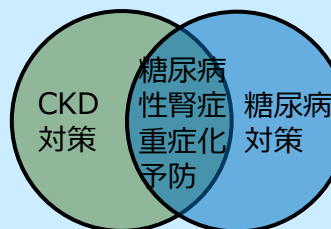
R4～新潟県における糖尿病・CKD対策

【課題】

- ・従来、糖尿病対策とCKD対策と分けて実施していたが、市町村、地域機関では、同じ担当者が両方の対策を担っており、効率化が必要
- ・糖尿病性腎症重症化予防の取組では、糖尿病専門医と腎臓専門医双方との連携が重要であり、双方の視点からの連携体制構築の検討が必要

【課題解決への方向性】

- ・CKD対策と糖尿病対策を統合し、関係者で効率的・効果的にCKD・糖尿病の早期発見・重症化予防の取組を推進



「取組の重なる部分＝糖尿病性腎症重症化予防」について、CKD対策、糖尿病対策双方の視点で検討することにより、効果的な取組の推進につながる

生活習慣病等重症化予防事業

【目的】

CKD対策と糖尿病対策を統合し、関係者で効率的・効果的にCKD・糖尿病の早期発見・重症化予防の取組を推進していくため、腎臓専門医、糖尿病専門医、関係機関等による検討を実施する。

【R4事業実績】

- ① 新潟県慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策推進協議会：R4.8.24開催
- ② 新潟県地域保健医療計画の糖尿病・CKD対策推進ワーキンググループ：R4.11.24開催
- ③ 新潟県糖尿病・CKD地域連携推進部会：R5.2.13開催

生活習慣病重症化予防ネットワーク事業（重点）

【目的】

地域におけるCKD・糖尿病対策を推進するため、地域糖尿病・CKD協力医の養成、CKD・糖尿病対策関係者の育成を目指した研修を開催する。また、地域における連携体制を目指し、地域機関において会議・研修等を開催する。

【R4事業実績】

- ① 地域糖尿病・CKD協力医養成研修：R4.7.30ハイブリッド開催、R4.10.15、R4.12.10録画配信
- ② 地域糖尿病・CKD協力医フォローアップ研修：R4.10.1当課主催研修、その他共催研修あり
- ③ 慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策従事者研修：R5.3.1開催
- ④ 地域慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策連携事業（地域機関で実施）：12地域機関で実施

R4～新潟県における糖尿病・CKD対策②

三者で連携して取組を推進

新潟県



新潟県医師会



新潟県糖尿病対策推進会議
(事務局：健康づくり財団)

新潟県における体制

①CKD・糖尿病対策推進協議会(県本庁)

【目的・内容】

CKDや糖尿病に関する予防や医療連携体制の構築等の専門的事項について検討し、新潟県におけるCKD・糖尿病対策の取組方針の決定、取組の評価を行う。

【参集者】

CKD・糖尿病学識経験者、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県栄養士会、県検診機関協議会、県国保連合会、県後期高齢者医療広域連合、協会けんぽ新潟支部等

取組方針や評価の提示



報告



②糖尿病・CKD対策推進WG (県本庁)

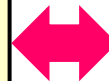
【目的・内容】 取組の柱：(1)(2)

CKD・糖尿病対策推進会議で決定された取組方針を踏まえ、新潟県地域保健医療計画の推進、進行管理、評価並びに見直し等の具体的な検討を行う。

【参集者】

CKD・糖尿病学識経験者等
※個別に協議が必要な事項が生じた場合には別途協議する。

連携



③糖尿病・CKD地域連携推進 部会(県本庁)

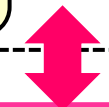
【目的・内容】 取組の柱：(3)(4)

CKD・糖尿病対策推進会議で決定された取組方針を踏まえ、地域における連携体制構築に向けた検討を行う。

【参集者】

地域でCKD・糖尿病対策を担う医師等
※状況により、市町村・保健所担当者も参集

連携



地域CKD・糖尿病対策連携事業(県地域機関)

【目的・内容】 地域における連携体制推進を目指し、保健所にて会議、研修等を開催する。

(参考) 地域機関における推進体制

健康づくり連絡調整会議

- **H16年4月施行**
- 目的：地域特定を踏まえた健康づくり計画の策定及びその推進について、市町村、関係団体等と協議することにより、地域における生涯を通じた一貫性のある保健事業の実施を支援するとともに、保健福祉行政分野のみならず、学校保健、産業保健、まちづくり等多様な分野における関係機関・団体等が相互に連携し、地域の健康課題に即した効果的な健康づくりの取組を推進する

地域・職域連携推進協議会

- **H18年4月施行**
- 目的：地域保健と職域保健の関係機関等が、それぞれの情報や課題等を共有し、より効果的、効率的な保健事業を展開することにより、県民一人ひとりが生涯を通じて健康づくりができるよう支援し、もって県民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上を図る

保健所では、地域の実情に合わせ、各事業を連動・連携させながら取組を推進

糖尿病・CKD関係事業

- **H26年～CKDモデル事業**
腎臓専門医をはじめとする関係者による課題の共有や効果的な地域連携のあり方を検討
- **R1年～地域糖尿病対策連携会議**
糖尿病の重症化予防について、各地域において、現状・課題に基づき、関係機関が情報共有し連携・支援体制を構築する
- **R4～地域CKD・糖尿病対策連携事業**
これまで実施してきたCKD対策、糖尿病対策を連動させ、各地域の現状・課題に基づき効果的な連携体制を構築する

食育推進事業

- **H19年4月施行**※事業名の変更等あり
- 目的：地域の健康課題やその背景にある栄養・食生活の課題に基づき、食育推進のための取組を展開することで、県民一人一人、子どもから成人、高齢者までが「食」について自ら考え、行動し、食生活の改善を図る

- 1. 県としての取組の方向性の可視化・共有**
- 2. データ提供・データに関する研修の開催**
- 3. 担当者の資質向上を目指した取組**

1 県としての取組の方向性の可視化・共有

糖尿病・CKD対策の位置づけ

第7次新潟県地域保健医療計画

- 計画期間：2018(平成30)年度～2023(令和5)年度
- 糖尿病：5疾病の1つとして、目標、施策の展開、医療連携体制を記載
- R3中間見直しにおいて「糖尿病対策とCKD対策を連動させ実施することで、より効果的な糖尿病性腎症重症化予防等の取組を促進する」旨追記。
- 数値目標：メタボリックシンドローム該当者及び予備群の推定数，特定健診実施率，特定保健指導実施率
※R5改定作業

健康にいがた21（第3次）

- 計画期間：2021(令和3)年度～2024(令和6)年度
- 「生活習慣病・加齢疾患等の発症予防・重症化予防」の中で「重症化予防の推進」を記載
- 数値目標：メタボリックシンドローム該当者及び予備群の推定数，特定健診実施率，特定保健指導実施率

取組・検討結果を踏まえ、次期計画策定の検討につなげていく

糖尿病・CKD対策を進める上で、より具体的な取組の方向性、評価指標等を整理し、関係者で共有することが必要



新潟県における糖尿病・CKDの早期発見・重症化予防の方向性を策定

1 県としての取組の方向性の可視化・共有

新潟県における糖尿病・CKDの早期発見・重症化予防の方向性

【理念】 すべての世代が生き生きと暮らせる「健康立県にいがた」の実現を目指し、糖尿病・CKD対策を効果的に推進する

【目的】 糖尿病・CKDを早期に発見し、適切な時期に保健指導・受診勧奨を行うことで、糖尿病・CKD重症化予防及び合併症の発症と進展を防ぐ

取組の4つの柱

糖尿病・CKD対策推進WGで検討

(1) 普及啓発

働く世代（40-59歳）の
CKD認知度50%

(2) 保険者・ かかりつけ医に おける早期発見・重症化予防 の推進

糖尿病患者に対する尿中
アルブミン検査実施率
(国保・後期高齢) 20%

糖尿病・CKD地域連携推進部会で検討

(3) 地域に おける医療連携 体制の構築

新潟県地域糖尿病・CKD
協力医数200人

(4) 保険者に おける糖尿病・ CKD対策従事 者の人材育成

資質向上を目指した取組
を実施または参加する
保険者数30保険者

2028年（R10年）までに達成すべき成果目標（KPI）
新規透析導入患者数を720人以下に減少させる
(2016年(H28年)比で10%以上減少)

2 データ提供・データに関する研修の開催

地域慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策連携事業

【実施主体】

地域振興局健康福祉（環境）部

【目的】

これまで実施してきたCKD対策、糖尿病対策を連動させ、各地域の現状・課題に基づき、腎臓専門医、糖尿病専門医をはじめとするCKD、糖尿病双方の関係者による課題の共有や検討をとおり、市町村等保険者、かかりつけ医および専門医との効果的な連携体制を構築することを目指す。

【事業内容】

以下を参考に、CKD・糖尿病対策に関する検討会・研修会を実施する。

○対象者

- ・市町村等の医療保険者
- ・かかりつけ医、腎臓専門医、糖尿病専門医、薬剤師、看護師、管理栄養士等のCKD・糖尿病対策に携わる医療従事者
- ・その他、地域においてCKD・糖尿病対策に携わる関係者・関係機関

○内容

- ・地域における現状や課題の共有
- ・保険者等における効果的な糖尿病性腎症重症化予防の取組の検討
- ・保険者、かかりつけ医、専門医等の連携体制に関する実態把握
- ・保険者、かかりつけ医、専門医等の連携体制の構築に関する検討
- ・地域でCKD・糖尿病対策を担う保健医療関係者等の人材育成

各地域で保険者における効果的な取組の検討を行うためには、保健所担当者もデータに関する知識を得ることが必要！

2 データ提供・データに関する研修の開催

保健所が市町村支援・事業展開する上での課題（データに関して）

- 保健所にKDBシステム端末がなく、具体的なデータを参照できない
- 保健所職員がデータに関する研修等に参加する機会が少ない
- 必要なデータの収集・整理に時間がかかる
- 業務経験の有無により、知識の習得状況に差がある

【本庁で実施したこと】

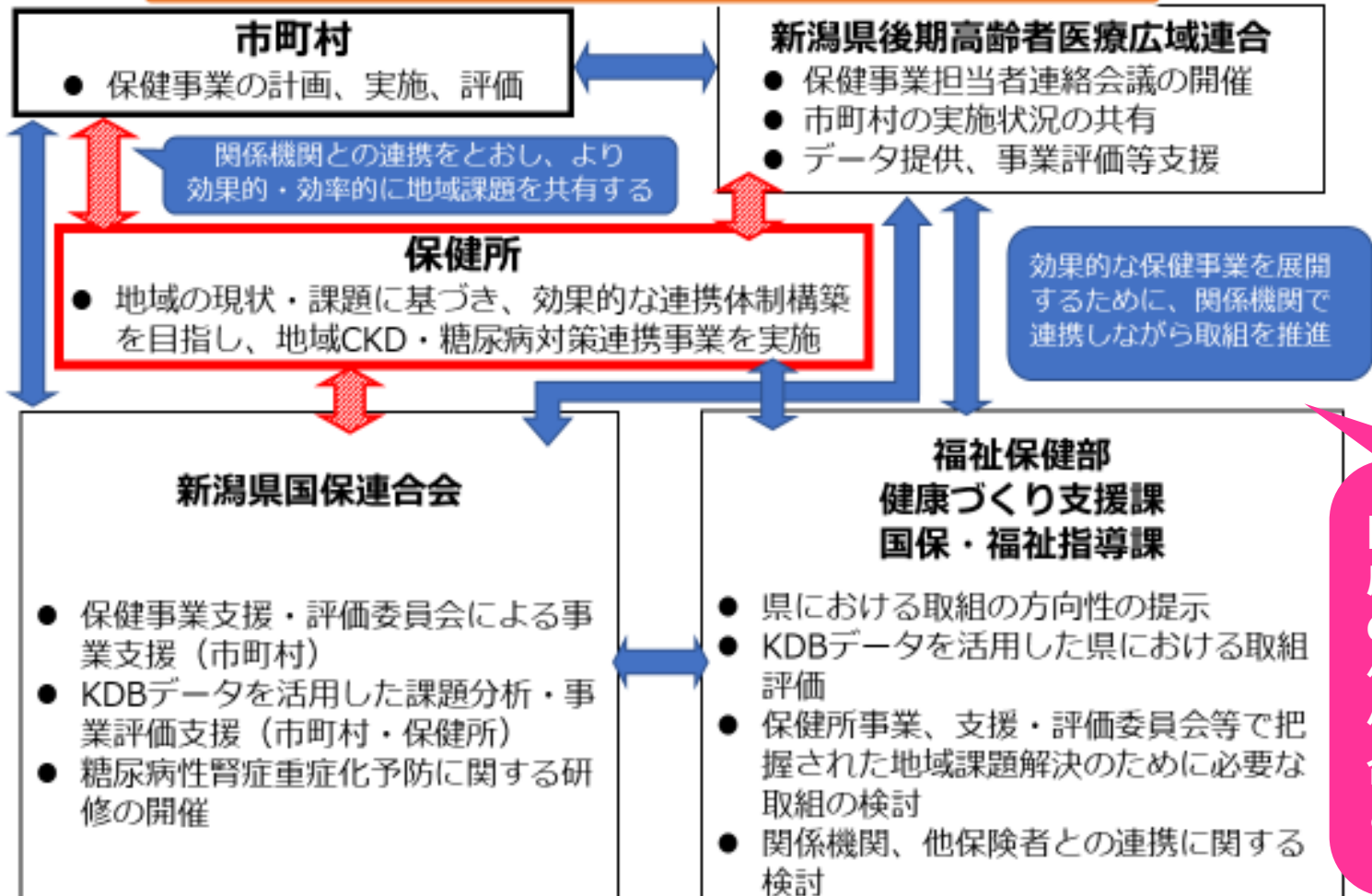
- ① 国保連合会や後期高齢者医療広域連合との連携を促進
- ② 市町村向けのKDBシステム操作研修への保健所職員の参加調整
- ③ 保健所向け研修の開催・事業で活用できるデータ提供

2 データ提供・データに関する研修の開催

① 国保連合会や後期高齢者医療広域連合との連携を促進

糖尿病・CKD対策（市町村）推進のための連携図

地域の実情を踏まえ、効率的・効果的な保健事業を展開する



国保連合会・広域連合と連携の上、連携図を作成・共有し、保健所⇄国保連合会・広域連合との連携を促進

各市町村において効果的な取組を推進するためのサポート、体制整備を行う

2 データ提供・データに関する研修の開催

② 市町村向けのKDBシステム操作研修への保健所職員の参加調整



国保連合会主催のKDB
システム操作研修に保健所
職員も参加できるよう調整



実際に端末を操作しながら、
KDBに関する基礎知識を
得ることができる

2 データ提供・データに関する研修の開催

③ 保健所向け研修の開催・事業で活用できるデータ提供

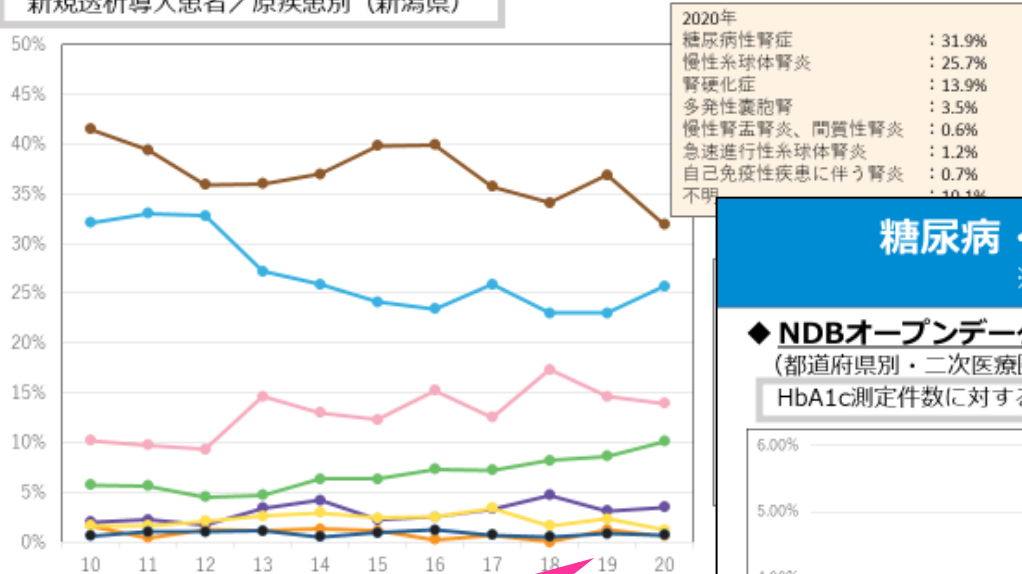
糖尿病・CKD対策で活用できるデータ

※評価指標等で用いているデータ

◆わが国の慢性透析療法の現況

(日本透析医学会統計調査委員会にて毎年度実施、都道府県別データのみ当課が取得し提供)

新規透析導入患者／原疾患別 (新潟県)



【参加者より】

- データがまとまっていて、わかりやすく参考になった。
- 紹介のあったデータで使用していないものもあったので今後活用していきたい。

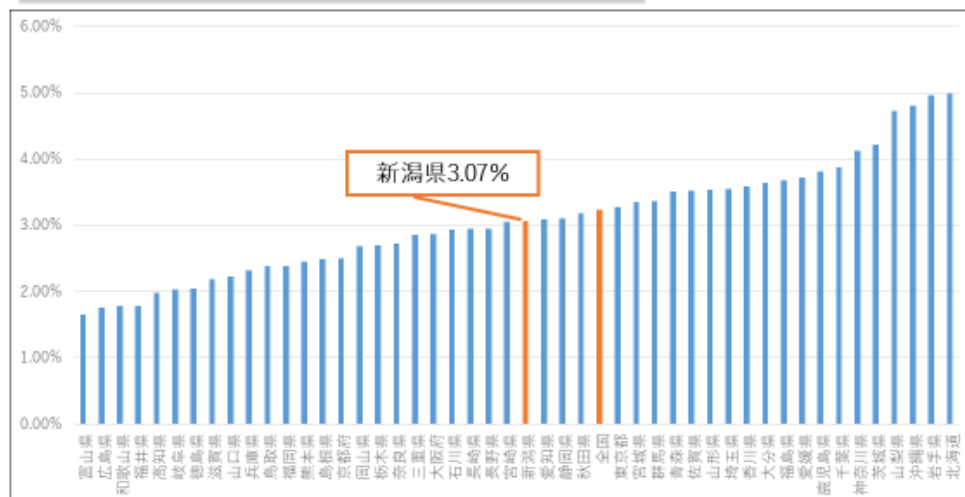
糖尿病・CKD対策で活用できるデータ

※評価指標等で用いているデータ

◆NDBオープンデータ

(都道府県別・二次医療圏別データの取得可能)

HbA1c測定件数に対する尿アルブミン値測定件数の割合



各地域で取組を推進するために活用できるデータ（NDBデータ、KDBデータ等）を県で一括取得し提供

3 担当者の資質向上を目指した取組

新潟県糖尿病・CKD対策従事者研修会

保健所・市町村・
医療保険者担当者等
計122名参加

新潟県 新潟県の糖尿病・CKD対策を推進するため、
医療保険者等の糖尿病・CKD対策従事者を対象に研修会を開催します！

令和4年度新潟県 糖尿病・CKD対策従事者研修会

日時
令和5年3月1日(水)
14:00 >>> 16:00

開催方法
Zoom ウェビナー
オンラインライブ配信
オンラインのみの開催となります

プログラムの詳細は、研修会案内書をご覧ください。

事業説明 新潟県におけるCKD・糖尿病対策の取組について
新潟県福祉保健部健康づくり支援課

講義 糖尿病性腎症の基本
新潟大学大学院医学総合研究所腎臓病センター 病態栄養学講座 特任准教授 細島 康宏 先生
糖尿病性腎症の基本、尿中アルブミン検査の必要性、早期介入（受診勧奨、保健指導）の必要性等についてご講義いただきます

情報提供 保健事業支援・評価委員会における
糖尿病性腎症重症化予防事業等への助言について
新潟県国民健康保険団体連合会
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施における
糖尿病性腎症重症化予防等の取組
新潟県後期高齢者医療広域連合

質疑応答 申込時に事前質問を受付けております。当日はZoomのQ&A機能をご使用ください。
当日全てのご質問にお答えできないことをご了承ください。

本研修の対象となる方

- 市町村
- 地域振興局健康福祉（環境）部
- 医療保険者

等の糖尿病・CKD対策従事者

申込方法は裏面をご覧ください


令和4年度新潟県糖尿病・CKD対策従事者研修会

申込方法

参加をご希望の方は、下記のURLもしくはQRコードの申込フォームに必要事項をご記入いただきお申込みください。
※複数人でご覧の場合でも参加人数把握のため、お一人ずつお申込みください。

<https://e-ve.event-form.jp/event/44638/DiabetesCKD>

- URL・QRコードから申込フォームに移動し、必要事項を記入して申込みます。確認ページが表示されたら申込完了です。
- 申込完了後、入力したメールアドレス宛に視聴URLが記載されたメールが自動送信されます。当日まで保管してください。
- 研修に関する資料は開催前までにメールで配布いたします。ダウンロードに問題がある方は、当日Zoomのチャットで送信致しますので、そちらからダウンロードください。
- 研修開始時間の30分前からZoomでの接続を開始致します。申込時のメールのリンクからアクセスしてください。



オンライン免責事項 ※あらかじめご確認ください

- 視聴環境
 - ① 視聴に必要な設備
 - ・視聴するための機器（パソコン、タブレット、スマートフォン）
 - ・インターネット接続環境（ご利用の環境によって通信量がかかる場合があります）
 - ② 接続確認
 - ・Zoomのウェブサイトであらかじめ接続テストを行っておくとスムーズです。
 - ・Zoomを初めて利用する場合はアプリをインストールしてください。（パソコンのみアプリをインストールせずにブラウザ（Google Chrome 推奨）で視聴することもできます）
 - Zoomウェブサイト ▶ <https://zoom.us/>
 - 接続テストはこちら ▶ <https://zoom.us/test/>
- 免責事項
 - ・今回の研修に係る映像、画像、テキスト、音声等のコンテンツ（以下「本コンテンツ」といいます）に関する著作権は、新潟県及びその他の著作権者に帰属します。
 - ・本コンテンツの複製（ダウンロードのほか、静止画の撮影等を含みます）、二次的利用等は、目的の如何を問わず、お断りさせていただきます。
 - ・ご使用のパソコン、インターネット回線等の環境が視聴環境を満たしているか、あらかじめご確認ください。（方法は1の視聴環境をご確認ください）
 - ・環境によって映像や音声途切れる、停止する等正常に視聴できないことがあります。
 - ・機器やインターネット回線の不調によって、映像や音声正常に視聴できない場合は、対応は致しかねますのでご了承ください。

職域（医療保険者）担当者にも参加いただき、
医療保険者内での資質向上の取組（研修の開催）につながった事例も！

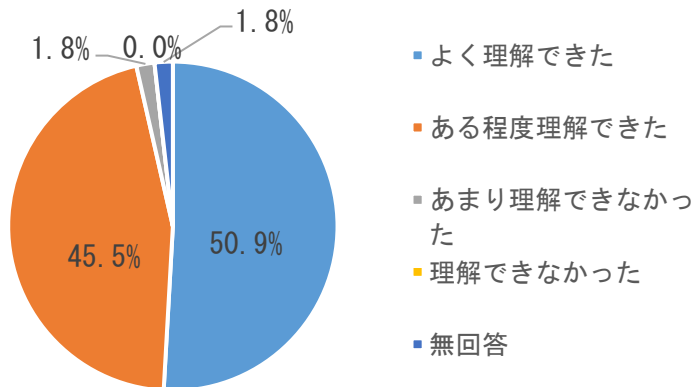
025-280-5198



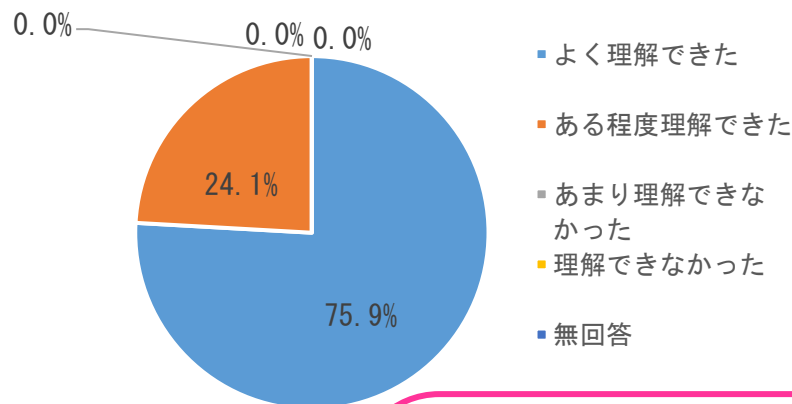
3 担当者の資質向上を目指した取組

新潟県糖尿病・CKD対策従事者研修会 アンケート結果

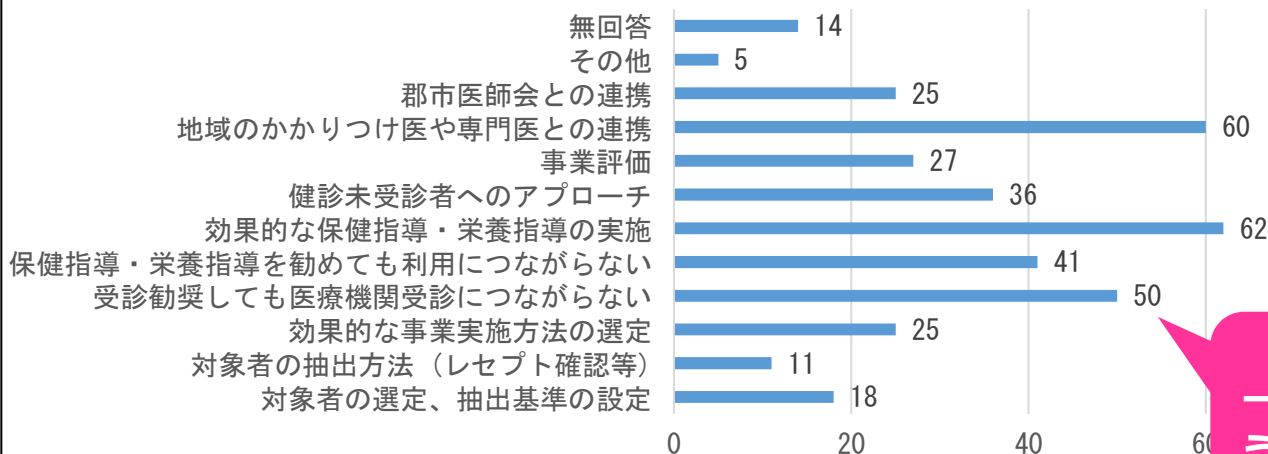
Q. 新潟県における糖尿病・CKD対策の方向性について理解できましたか？



Q. 講義「糖尿病性腎症の基本」について理解できましたか？



日頃の糖尿病性腎症重症化予防等の糖尿病・CKD対策の取組で困っていること



【参加者の感想等】

- 貴重な研修の機会を設けていただきありがとうございました。先生のお言葉が励みとなりました。
- 県の動きや専門の方からの最新の情報を聞くことができ大変勉強になりました。日々目の前の業務をこなすことで精一杯になりがちなので、こうした研修会は事業見直しのきっかけや新たな視点にも気づくこともできるのでありがたいです。

【研修会の成果】

一丸となって取組を推進しようという機運が高まった！

3 担当者の資質向上を目指した取組

保健所担当者情報交換会の開催

令和4年度慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策情報交換会 次第

日時 令和4年6月3日（金）
午後2時35分～午後3時30分
会場 オンライン（Zoom）にて開催

- 1 開会
- 2 説明①「新潟県におけるCKD・糖尿病対策の取組について」
(健康づくり支援課)
- 3 説明②「令和4年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業について」
(新潟県国民健康保険団体連合会)
- 4 説明③「後期高齢者医療制度における糖尿病性腎症重症化予防の取組について」
(新潟県後期高齢者医療広域連合)
- 5 情報交換「地域機関における事業展開について」
- 6 閉会

— 配付資料 —

- 資料No.1 新潟県におけるCKD・糖尿病対策の取組について
(健康づくり支援課資料)
- 資料No.2 令和4年度国保・後期高齢者ヘルスサポート事業計画
(新潟県国民健康保険団体連合会資料)
- 資料No.3 後期高齢者医療制度における糖尿病性腎症重症化予防の取組について
(新潟県後期高齢者医療広域連合資料)

新 潟 県

新潟県におけるCKD・ 糖尿病対策の取組について

はじめよう、
けんこう
time

健康づくり県民運動 スローガン



ロゴマーク

令和4年6月3日（金）
令和4年度CKD・糖尿病対策情報交換会

オンライン（Zoom）を活用し、県内12
保健所担当者との情報交換会を開催し、
県の取組の方向性や取組状況を共有
R4年度実績：2回開催、延べ44名参加

3 担当者の資質向上を目指した取組

新潟県地域糖尿病・CKD協力医の養成

職域だけではアプローチが難しい医療連携体制の構築について、必要な取組の検討・情報共有ができた！

【目的】

R5.1現在 **96名** 登録

新潟県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの内容を理解し、より早い段階からの適切な保健指導の実施及び医療の提供が可能となるよう、地域の糖尿病・CKD対策に協力する医師を養成する

【役割】

- ① 地域の糖尿病・CKD患者の診療や療養指導に積極的に取り組む
- ② 糖代謝異常、腎機能低下で受診勧奨された者に対し、適切な介入を行う
- ③ 糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士等をはじめ、多職種と連携しながら診療にあたる
- ④ 専門的治療を行う医療機関、保険者、行政等と連携し、地域の糖尿病・CKD対策に携わる

新潟県地域糖尿病・ CKD協力医

登録証

氏 名

医療機関名

登録番号

有効期間

上記の者は、新潟県地域糖尿病・CKD協力医登録要綱第3条に定める協力医であることを証します。

年 月 日

新潟県知事 花角 英世



今後の課題【職域との連携の更なる強化】

新潟県CKD・糖尿病対策推進協議会（R4～）



【協議会の成果】

地域（県・保健所・市町村）における取組だけでなく、職域における取組を共有し、必要な取組を検討することができた！



県レベルの会議・協議会においても、今後は職域との連携推進のための検討をさらに進めていくことが必要！

今後の課題【職域との連携の更なる強化】

医療保険者における取組状況調査の実施（R5）

県保険者協議会に協力いただき、保険者協議会が把握する県内医療保険者を対象に調査を実施

健 第 556 号
令和 5 年 8 月 15 日

新潟県内医療保険者の長 様

新潟県福祉保健部健康づくり支援課長

糖尿病・CKD 対策に関する取組状況調査について（依頼）

日頃、県民の健康づくりの推進に格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。本県では、以前より、慢性腎臓病（CKD）対策及び糖尿病対策を進めてきたところですが、近年、糖尿病性腎症重症化予防の取組が重要視され、糖尿病対策とCKD対策を連動させ、双方の視点で取組を進めることにより、より効率的、効果的な取組ができるとの考えから、令和4年度より、糖尿病対策とCKD対策を統合し、各種会議等を実施しております。

また、「新潟県地域保健医療計画」を策定し各種施策を展開していますが、現行の第7次計画が令和5年度に終期を迎えるため、今年度、次期計画を策定します。

つきましては、御多用のところ恐れ入りますが、次期計画策定等の参考としたいため、貴会における糖尿病・CKD対策に関する取組状況について、下記により回答に御協力くださるようお願いいたします。

記

1 回答方法・期限

新潟県電子申請システムより、9月8日（金）までに回答をお願いします。
<https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/userLoginDispNon?tempSeq=6542&accessFrom>

2 その他

- 御回答いただいた内容は、新潟県地域保健医療計画「糖尿病」分野での指標や県で開催する糖尿病・CKD対策会議等で使用予定です。
- 本調査は今後も実施し、糖尿病・CKD対策事業の取組の参考とさせていただきます。

【担当】健康づくり支援課 健康立県推進班 逸見、重住
TEL 025-280-5198 FAX 025-285-8757
Mail hemmi.sachie@pref.niigata.lg.jp

調査結果を踏まえ、
今後の取組に
ついて検討予定

まとめ

地域・職域連携推進協議会

地域

【取組(例)】

- 特定健診・保健指導
- 健康増進法に基づく健(検)診(がん検診等)
- 健康教育・保健指導等

【関係機関(例)】

- ・ 都道府県
- ・ 市区町村
- ・ 医師会
- ・ 歯科医師会
- ・ 薬剤師会
- ・ 看護協会
- ・ 栄養士会
- ・ 国民健康保険
- ・ 住民ボランティア等

職域

【取組(例)】

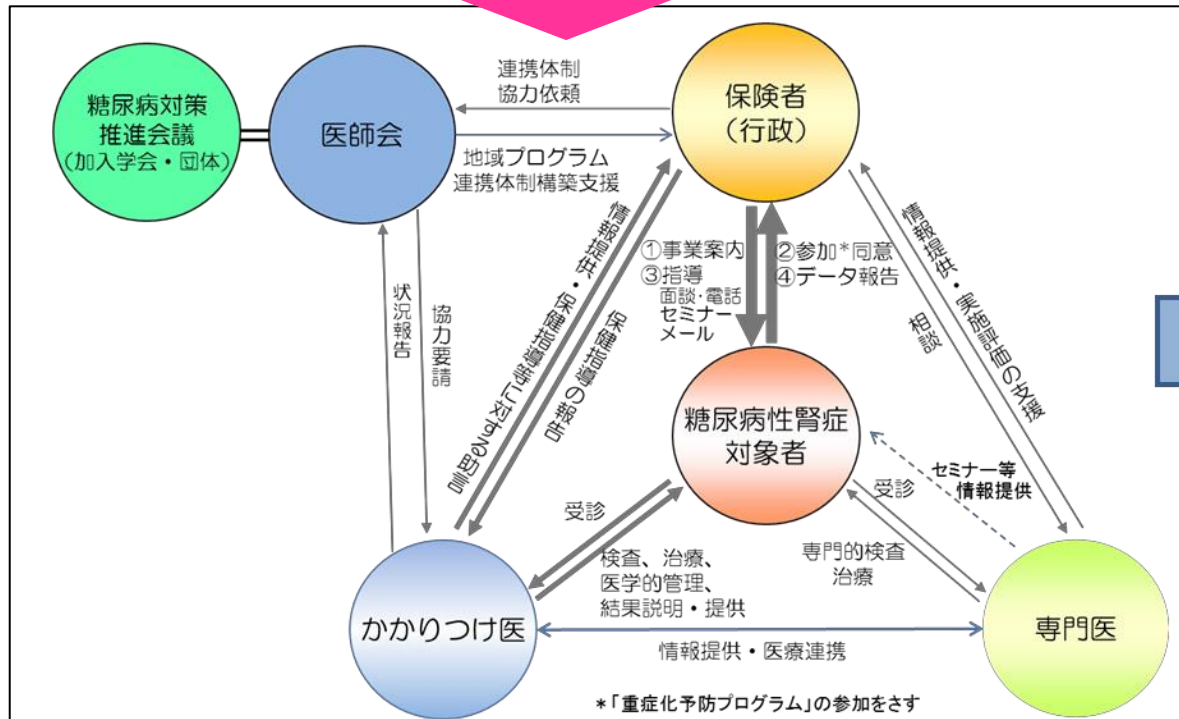
- 労働安全衛生法に基づく定期健診
- ストレスチェック
- 両立支援等

【関係機関(例)】

- ・ 事業場
- ・ 協会けんぽ
- ・ 健康保険組合
- ・ 労働局
- ・ 労働基準監督署
- ・ 産保センター
- ・ 地産保
- ・ 経団連
- ・ 商工会議所
- ・ 商工会

連携
課題・取組の共有

地域・職域連携ガイドラインより



糖尿病性腎症重症化予防プログラムより

糖尿病・CKD対策において、地域・職域連携による取組が進みつつある



様々な分野で地域・職域連携を推進し、効果的な取組を進めることができるよう、県として体制整備を進めていくことが必要